

# 令和2年度東郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証会議

## 会議録 概要

日時：令和3年3月24日（水）

午前10時00分から11時00分まで

場所：役場3階 政策審議会室

出席者：神頭座長、山田委員、黒川委員、高岡委員

欠席者：杉浦委員

事務局：企画部長、企画情報課長、企画情報課課長補佐、企画情報課主事

傍聴者：なし

### ○ 次第

- 1 あいさつ
- 2 第2期東郷町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況について
- 3 意見交換

### 開会

#### 1 あいさつ

企画部長あいさつ

#### 2 第2期東郷町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況について (資料に基づき事務局から説明)

#### 3 意見交換

##### 【座長】

説明いただいた総合戦略進捗状況について、ご意見・ご質問があればお願いしたい。

##### 【委員】

資料(2)9PのKPIにおいて、新規誘致企業数の実績値が11社とあるが、こういった業種があるのか。

##### 【事務局】

物流系・製造業系が多い。誘致しているエリアの立地上の特性もあり、業種が絞られる傾向にある。

##### 【委員】

新規創業者については、こういった業種の方が多いのか。

##### 【事務局】

新規創業者数までしか算出していない。今後は業態についても分析していきたい。

**【委員】**

地域の特性もあると思うが、こういった業種を呼びたい等の戦略について、実態をどのように分析しているのか。

**【事務局】**

町として、雇用と両立できるような企業誘致を目指しているが、誘致する場所の条件等もあり、現実的には物流系が多い状況となっている。

**【委員】**

新たな産業の誘致について、「新市街地候補ゾーン（工業系、研究開発系）を中心とした土地利用を促進します。」と明確に記載されていることは良いが、物流系が多いという現状は、低炭素なまちづくりを推進している本町において、大変な状況だと思う。

豊田市では「車のまち」として関連業種の企業を誘致している。新しい産業に取り組むのであれば、「東郷町は〇〇のまち」というイメージを将来的に根付かせることで、関連業種の企業が集まり、雇用が生まれるのではないかと思う。

資料(2)13P「新しいひとの流れをつくる」の【今後の主な取組】について、「子どもからお年寄りまで、みんなが歩いて暮らせる便利なまち」という良いフレーズがあるが、これは全世代に向けたフレーズであると感じる。本町は、子どもの医療費が無料であり、緑豊かなまちでもあるため、働き世代やセカンドライフとして転入する世代にターゲットを絞ることで、活性化につながるのではないかと思う。

**【事務局】**

本町では、みよしIC近辺のゾーンで、比較的多くの物流系・製造業系の企業が誘致されている。現在、当該エリアを更に拡大した「東部丘陵」として、土地利用について戦略的に検討しているところである。検討の中では、物流系・製造業系に限らず、様々な分野における土地利用の提案が出ているため、ご意見いただいた幅広い分野での土地の利活用はこれから取り組んでいく予定である。

転入を促す世代のターゲットについては、来年度以降、ターゲットを絞ったシティプロモーションを行っていく予定である。今住んでいる方たちには住み続けていただき、そして若い方たちにはどんどん来ていただきたいと考えており、対外的には子育て世代をターゲットに取組んでいるところである。これは、ららぽーと愛知東郷のターゲット世代ともマッチしている。

**【委員】**

それぞれの施策について【令和元年度の主な取組】及び【今後の主な取組】が記載されているが、今年度である令和2年度の扱いはどのようになるのか。

**【事務局】**

進捗状況の実績は令和元年度時点のものであり、【今後の主な取組】には令和2年度も含んでいる。11～12月頃に本会を開催し、前年度の実績と次年度以降の取組という形で報告する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和2年度末までずれ込んでしまった。

**【委員】**

各指標の進捗状況が矢印で示されているが、【令和元年度の主な取組】におけるそれぞれの取組の分析と評価については、必ずしも指標の進捗状況とイコールにはならないと思われる。それぞれの取組における進捗状況についても記載があれば、今後の主な取組にもつながり、より良い分析ができるのではないかと。

**【委員】**

広域的な公共交通ネットワークの形成ということで、近隣市町と意見交換をしたとあるが、結果どのようになったのか。

**【事務局】**

広域を活用していく必要があるということは、近隣市町の共通意識として持っている。本町は、近隣市町の中心に位置するまちであり、交通結節点であるバスターミナルも整備しているため、町としてはバスのルート上のハブとして本町のバスターミナルを活用していただきたいと強く要望している。

また、4月から藤田医科大学病院へのバスを民間事業者に委託して運行を開始する。今後は、それを軸にした豊明方面への広域的な公共交通ネットワークの形成について、豊明市と協議していく。さらに、三井不動産が運行しているバスは、3月から徳重への運行が始まっている。

町としても、広域的な交通網の形成に向けて努力しているため、今後も引き続き近隣市町と連携して協議していきたい。

**【委員】**

乗合タクシー等のデマンド交通については、町民の利便性の向上に係る別のアプローチとして実施しているという認識でよいか。

**【事務局】**

本町内で実施しており、お見込のとおりである。

**【座長】**

当該事業は高齢者の交通事故を防止するためにも大事な取組だと思う。

**【事務局】**

本町としては、高齢者の免許証自主返納を必ずしも強く促進させるのではなく、衝突抑止や自動運転等の新しい技術に繋げるべく、返納しなくても生活ができるよう、多様な交通手段を提供していきたいと考えている。

**【座長】**

基点はららぼーと愛知東郷となるのか。

**【事務局】**

ららぼーと愛知東郷を基点として4月からのルートを再編している。

**【座長】**

待機児童が0でも満足していない住民がいるのは、どのような状況なのか。

**【事務局】**

待機児童数は4月1日の数値であり、転入等により年度途中で入園する児童については待機が発生してしまう。

**【座長】**

大学等の連携について、連携事業数が増加しているが、どのような事業なのか。

**【事務局】**

藤田医科大学及び藤田医科大学病院との連携事業である。新型コロナウイルス感染症に関する医学的な知見の提供や、本町からマスクを提供する等の事業を実施している。先日も藤田医科大学病院にて作成された子ども向けの感染症予防動画について、DVDによる提供を受け、町内の小中学校及び保育園に配布した。

令和2年度においても様々な分野に関して近隣大学との連携を推進しているため、次年度の報告については、さらに実績値が増加する予定である。

**【座長】**

自治体と大学の連携というと、地元の農産物を使ったお菓子の製作等がよく見受けられる。

**【事務局】**

本町でも、過去に名古屋スイーツ&カフェ専門学校と連携して、東郷町産の食材を活用した商品の企画を行っている。

**【委員】**

産官学の連携について、様々な技術を使って社会の課題を解決したいと考えるスタートアップ企業から、実証実験の場を提供してほしいとの話があった場合には、積極的に受けていくのか。

**【事務局】**

実証実験の場として、本町の人口規模は絶好の条件であると考えている。こちらから営業をかけているところもあり、積極的にお受けしていきたい。

**【委員】**

当該取組については、将来的な財政負担を減らし、ソーシャルインパクトボンドのような取組にもつながると考える。

**【座長】**

中心商店街地区ということではらぼーとに対し調査等は実施しているのか。

**【事務局】**

オープンしたばかりであるため、そこまでには至っていない。今後、道路沿いの土地が埋まってくると、中心商店街地区としてのイメージが出来てくるかと思われる。

**【事務局】**

本日いただいたご意見を踏まえて、町長を本部長とする推進本部会議に報告させていただく。

以上